

近藤組

生徒6人に記念品

公共施設連絡バス
イラスト採用で

近藤組（刈谷市、近藤純子社長）は、刈谷市公共施設連絡バス（東刈谷線）のラッピング広告のイラストを描いた安城特別支援学校の生徒6人に記念品を贈った。23日に同校で贈呈式が行われ、近藤社長が生徒一人一人

に手渡した。

同社と絵画や版画などのアートを通して障害者を支援する一般社団法人アティックアート（豊田

市、須藤伸枝代表理事）は、同校の協力を得て、中等部2年の石川夕朔さん、3年の神谷康太朗さん、高等部2年の近藤拓海さん、三河秀人さん、3年の岸本百々香さん、新實春平さんが描いた鳥や花のイラストを採用し



生徒6人と近藤社長（右端）、須藤代表理事（左端）

た。6人は笑顔で「採用されてうれしい」「バスを見てうれしかった」と、近藤社長や須藤代表理事

にお礼の言葉を述べた。内田令子校長から近藤社長と須藤代表理事に感謝状が贈られた。

ラッピング広告のデザインは、生徒6人とアティックアートに所属するアーティストのイラストを組み合わせて制作している。車体の左右側面と後部背面に掲載した東刈谷線のバスは、2017年9月1日から運行している。